はちまるサポート浅川って？

地域の身近な福祉の総合相談窓口です。
年齢や性別、障がいの有無は問いません。本人や家族に寄り添いながら、関係機関と協力して困りごとの解決を目指し、窓口に常駐しているCSWがお話を伺います。
お悩みごとだけでなく、地域のために活動したいという方もご相談ください。

相談したい

生活に困っている

物があふれてる家がある

家族がひきこもりがち

参加したい

地域活動
講座
イベント

子ども食堂
地域住民の交流

協力したい

ボランティア

なにか私にできることを探したい！！

現金寄付・物品寄付

お引き受けできないお品もあります。まずは、はちまる浅川へお電話でご確認ください。

CSW(コミュニティソーシャルワーカー)って？

相談支援を行い、地域のつながりを作る地域福祉の専門職です。
ご相談に対してCSWは相談者と一緒に悩み、考えます。
地域で生活するなかで、お困りのことや、気になることがあれば、まずは、はちまるサポートのCSWとつながりを持ってください。

諏訪CSW

4月よりはちまるサポート浅川に配属となりました。
ひとりひとりに寄り添った支援ができるようがんばります。
よろしくお願いいたします。
趣味は釣りです。
いつか南浅川の主を釣りあげたいです。

佐藤CSW

浅川に来て3年目になりました。
地域力がすばらしい！寄り添える支援ができるようにがんばります！
最近、ヨガにはまっています♪
自然の中でヨガがしたい！

●ガビちゃんクイズ　答え 11回●

知っておきたい防災プチ情報

今年もまた台風の季節がやってきました。
浅川事務所の裏と上椚田橋には川の様子が確認できるライブカメラが設置されています。
大雨など川の増水が心配なときは、リアルタイムで確認いただけますので、ぜひ、ご活用ください。

はちまるサポート浅川

【住所】
〒193-0844
八王子市高尾町1652-1　浅川市民センター1F
【電 話】 042-629-9444
【FAX】 042-629-9445
【メール】 sasaeai-asakawa@8-shakyo.or.jp

【担当エリア】
裏高尾町・高尾町・南浅川町
西浅川町・東浅川町・廿里町
初沢町・狭間町・散田町

【開所日】 月～土 9:00～17:00
※日曜、祝日、センター休館日（第2・第4月曜日）
年末年始を除く

あさかわ

はちまる通信　Vol.6

社会福祉法人 八王子市社会福祉協議会
はちまるサポート浅川

【いろんな生き物がいる】ところが好き
鳥の声を聞きながら歩くのが楽しいです

CSW諏訪
はちまるサポート浅川

CSW佐藤

山もある、イーアスもある、
インターもある、プロバスケチームもある
【爽やかな風】がふくこのまちが好き♥

「はちまるサポート浅川」は
浅川を愛する皆さんと協力して
活動しています

＼ おいら ガビチョウです ／

おいらはガビちゃん。
はちまるサポート浅川の【CSW】とかいう人間たちがなにをやってるか、おいらが次のページで教えてあげるガビ。
早くめくるガビ。
浅川のひとたちはみんなおいらの鳴き声が大好きに決まってるよな。
「チーチーピーピーガビガビ」

鳴き声が騒がしい鳥
ガビちゃん

●ガビちゃんクイズ●
ガビちゃんは何回登場するでしょう？

We Love Asakawa
～浅川のココが好き～

四季折々の
自然豊かな風景と
昔から変わらない
人情味があって
【やさしさがあふれる】
浅川のまちが好き

浅川地区社会福祉協議会
新井さん

高尾の森ふれあい食堂
代表 針生さん

近くに陵南公園や
【高尾山】が見える
川沿いの散歩道
があって、よい
気が通っている
場所だと感じるところ

あたたかい
【地域のつながり】
があるところが好き

高齢者あんしん相談センター 高尾
生活支援コーディネーター
田丸さん・林さん

【自然の移り変わり】を
感じながら職場に来て
仕事ができるところが好き

浅川市民センター
スタッフの皆さん

浅川地区
町会自治会連合会
会長
角田さん

【自然が豊か】であること
意外と交通の便がよいところ

14地区民生児童委員協議会
鈴木さん

赤ちゃんから
お年寄りまで、
福祉に係わる
各団体の
ネットワークづくりなど
【浅川地区の地域力】
が素晴らしい！

小鳥のガビちゃんより

はちまるサポート浅川のCSWの活動を３つご紹介します！

どんな思いでボランティアをしてるんだろう？やってみてどうだったかな？
みんなの思い聞いてみたガビ！

Topic1　ボランティアはスカウトの時代だ！～人と人をつなげる～

2020年以降、新型コロナ流行に伴い、ボランティアを募集しても、人が集まりにくい状況が生まれました。
しかし、はちまるサポートにはさまざまなボランティア要請が入ってきます。そこで、はちまるサポート浅川では手が挙がるのを待つのではなく私たちから声をかける**スカウト方式**を始めました！
この方式で見つけた**「子どもと公園で遊ぶボランティアの活動」**についてご紹介します。

＼＼ボランティア派遣までの流れ／／

Request（要請者）

夫婦ともに障がいがあるので、子どもを公園で遊ばせてあげることが難しいんです。
子どもと公園で一緒に遊んでくれるボランティアさんはいませんか？

依頼

要請が入ったら
CSWは「合いそうな人」を
ピックアップするガビ♪

Matching（はちまるサポート浅川）

福祉イベントで知り合った「うたのおねえさん(Ükaさん)」が適任ではないかと考えて、「公園あそびボランティア」にスカウト！昨年春に活動が始まりました！
さらに、今春からは大学生の姉妹をCSWがスカウト！
ボランティアが3名となり無理なく活動を継続できる体制ができました。

＼＼１日の活動はこんな感じ／／

10:00 公園に出発

きょうは
なにして
あそぼう^^

10:15 すべり台

すべって

走って

11:30 そろそろお別れ

どろんこ

→次回の日程を決めて
お家に帰ります

またねー！

ガビチョウたもの

「ガビちゃんのひとこと」
ボランティア活動や子ども食堂などを通じて、人と人がつながることで、多様な人がその人らしく生きることができるんだなあ。
きっとそんな地域で育つ子どもたちもその子の個性を伸ばしていけるんだなあ。

がびを

たくさんの人が関わる子育てっていい

普段は介護施設や保育園で働きながら、「うたのおねえさんÜka(うか)」として活動をしています。八王子を中心に子育てイベントなどで音楽を通じて、子どもたちと楽しい時間を作っています。

ボランティアにお誘いいただいたときは、自身の勉強として、子どもと関わる機会がほしかったこともあり、やってみようと思いました。
親御さんのわが子を存分に外で遊ばせたいという気持ちにこたえるために始めたボランティア。
ひとりのお子さんと、1年以上、ボランティアとして一緒に過ごしたことで「こんなこともできるようになったんだ！」とお子さんの成長を感じています。
また、子どもの興味に寄り添い遊びの工夫をすることは、私自身の「うたのおねえさん」としての活動にも役立っています。
ボランティアをする中でひとりの子が育って行く間には、成長を見守っているおとながたくさんいて、地域の人たちも関わっていることを知りました。
パパやママだけではなく、家族以外のたくさんの人の手がある「子育て」は、とてもありがたいことなのではないかなぁと感じました。

ガビッ！

Ükaさんのホームページ
要チェックだぜ！→

Üka

ボランティア活動は学びの場

Yuki

大学で保育や福祉を学んでいますが、実際に保護者や子どもと接する機会は少ないです。
このボランティアをすることで、親御さんがどんなことを考え子どもと向き合っているのか、子どもは何に興味を持ってどう動くのかを近い距離で知ることができ、発見や学びの連続です。
今後は、趣味のピアノが活かせる活動や、高齢者の方や障がい者の方と関わるボランティアもやってみたいです。

いっぱい学んで
エライ！

子どもの成長が楽しみになる

大学で保育や福祉を学んでいます。お子さんと触れ合う機会を増やしたいと思っていたところ、ボランティアとしてチャレンジする機会をいただきました。
お子さんの、本気のなりきり遊びの上手さや、たまに出る大人びた言葉遣いがおもしろく、とてもかわいいです。また、一緒に公園を動き回り身体を動かすこと自体も楽しいです。やりがいを持ってボランティア活動ができています。

Yuka

楽しそうだなぁ

Topic2　連携会議　「小梅の会」～地域のつながりを生みだす～

高齢者あんしん相談センター高尾の生活支援コーディネーターと浅川地区社会福祉協議会、そして私たちはちまるサポート浅川のCSWというメンバーで２か月に一度集まって話し合う連携会議を行っています。
梅の花が咲くころに立ち上げたこともあり、「小梅の会」という名称にしました。この会では、おのおのが持っている地域の情報や、課題を共有し、よりよい地域福祉のために話し合っています。
同じ地域福祉を推進する機関ですがそれぞれに異なる視点があり、新しいアイデアや価値観が生まれています。

（左から）　生活Co　田丸さん、林さん
CSW　　佐藤、諏訪
浅川地区社協　新井さん

この日は、浅川エリアで活躍している市民グループが分野を超えて集まり、つながる機会を作れないかと話し合いました。
地域福祉に関わる機関がしっかり話し合う時間をもつことで、地域に「つながり」という名の梅の花をたくさん咲かせられると信じています。

Topic3　高尾の森ふれあい食堂がOPEN！～つながりを後押しする～

浅川地区に初めての子ども食堂が4月にオープン！！はちまるサポート浅川は立ち上げに向け、近隣の学校へニーズ調査を行い、この地域に子ども食堂をつくることの大切さを知りました。
高尾の森ふれあい食堂の様子について、代表の針生（はりう）さんに伺ってみましょう！

ガビッ！
やってみて
どうだったかな？

浅川地域の子どもと大人がつながる場をつくりたくてはじめました。
すべての子どもが多くの人に愛され、大切に育てられる社会にしたいという思いがコンセプトです。たくさんの子どもたちが来てくれるようになり「おいしい」「また来たい」と話してくれて嬉しいです。
いつも家ではひとりでご飯をたべている子が「みんなと一緒にごはん食べるのって楽しいね」と言ってくれたことが胸に響いています。

活動の詳細については、
ホームページを見て欲しいガビ。
おいらも一緒に食べたいなぁ。

（左から）
渡辺さん、代表 針生さん